

Newsletter from the Principal's Desk

自らの賜物を 最大限に活かし 拓かれた未来へ

No. 17

Monday, September 1, 2025

函館市杉並町23-11

遺愛女子中学校高等学校

部活動など 大活躍！

令和7年度全国中学校体育大会 第56回全国中学校新体操選手権大会 開催地 佐賀県

団体 28位 C3A 寺谷 藍 帰家稟和 C2A 小林舞桜 坪内沙奈 若林碧乃

大会中は、エアコンのない練習会場もあり、体調が悪くならないか心配ではありましたが、生徒たちは全力で演技することができました。とても貴重な経験することができたと思います。また、次の目標に向かって頑張っていきます。



全国で
躍動！

第70回 北海道吹奏楽コンクール【2025年8月28日(木)】 全道金賞！

K3A 池田安里 井上結衣 川渕うらら 木村千花 中澤日花里
K3B 嵐田夢叶 岩間桃子 岩本瞳奈 岡 柚月 菊池百優来 工藤愛花 佐藤心優
種村心和 寺分梨乃
K3C 植田寧々 蛭沢凜音 菅野恵愛 齊藤千子 澤田あいこ 中根汐羅 藤谷一未
K3H 石垣真央 斉藤夏美 谷口湊花
K3I 後藤彩来 田中志穂 西田衣織 K3J 佐々木みらい
K2A 内潟彩乃 菊村葉那 鮫川苺花 平出菜々子 深澤美月 山村美羽
K2B 五十嵐 和 片山侑杏 工藤夢芽 越田優羽 小林茉央 種市 藍
K2C 安藤 悠 紺谷あやめ 土谷さくら 三浦 花 安田百合
K2G 笠松柚衣 東間未空 K2J 木村日菜向 近藤彩乃 吉田彩愛
K1A 高嶋杏奈 K1B 大森葉月 三浦 香 K1I 木村 葵

全道
金賞！

高等学校A編成の部におきまして、『金賞』を受賞することができました。初めてKitaraのステージに乗る生徒達も多くいた中で、本当によく頑張ってくれたと思います。代表は『東海大学付属札幌高校（常連）』と『旭川明成高校（初）』の2校でした。旭川明成高校は『笑ってコラえて』というテレビ番組で取りあげられていた学校で、今回、練習会場が一緒でした。来年は旭川明成に続けたいと思います。



第59回北海道高等学校文化連盟道南支部 合同演奏会 合唱部門 最優秀賞

第92回NHK全国学校音楽コンクール道南地区大会 銅賞

K3B 中山花音 K3C 佐々木実希 前田紫乃 K3H 神田蒼依 K3I 佐藤ユリ
K2H クライスはな 近藤リエル 竹内 心 高橋果林 K2I 井上さや
K2J 石川愛美 岩本実那美 C3A 佐藤心音 C2A 池松暁璃 松倉志穂

第35回函館市青少年芸術奨励事業「音楽部門」

中学生の部 入選 C1A 木村優那 奨励賞 C1A 村井柚月 C2A 辻詩乃
高校生の部 入選 K3A 村上愛結 K3H 藤井はんな K3J 松永南春
奨励賞 K1B 松永南々夏

第63回 高文連道南支部美術展

優秀賞 (作品も生徒も全道大会参加)

K3C 福田雪見 K3C 木村杏梨 K1A 佐藤 釉

奨励賞 (生徒のみ全道大会参加)

K3I 澤口雛音 K2A 今野椿葉希 K2I 河原音羽

K3木村は昨年に続き映像作品を出品しました。上記6名は10月の全道大会に参加します。31日(日)まで道南支部の作品展が芸術ホールにて開催中です。お近くにお出かけの際はぜひご覧ください。



福田さんの作品



河原さんの作品



今野さんの作品



佐藤さんの作品

北海道高等学校文化連盟道南支部 第58回理科研究発表大会【生物部】

午前 研究・ポスター発表

高校2, 3年生は「ワラジムシを使ったコンポスト」

高校1年生は「大森浜のマイクロプラスチック」

についての実験結果をまとめて発表

遺愛構内でワラジムシ(2000匹くらい)を集めたり

野菜くずやご飯を寮厨房からいただいたり

大森浜でゴミ拾いをしたり

顕微鏡で砂の中から砂粒大のプラスチックを探したり

大変なこともありながら、みんなで協力して最終的に

ポスターにまとめることができました。

本番はたくさんの観衆の中、緊張しながらも

立派にポスター発表することができました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

午後 北方民族資料館を見学

アイヌ文化について、衣食住を知ることができまし

た。

自然を畏れる文化

自然を大切にする文化

自然と共存する文化

現代の我々に足りないものを教えてくれている気がしました。



遺愛女子中学校 授業体験会

8月30日（土）、本校において初めての試みとなる「授業体験会」を開催いたしました。当日は、函館市内外から小学校4年生から6年生までの女子児童とその保護者、合わせて46組の皆さまにご参加いただきました。遠いところでは東京から来られた方もいました。多くの方々に足をお運びいただけたことに、心より感謝申し上げます。

体験会は、午後1時半の受付開始から和やかな雰囲気の中でスタートしました。参加した小学生たちは緊張しながらも、名札を受け取り、在校生ボランティアの案内で教室へ向かいました。本校の制服姿の先輩たちに迎えられ、少し安心した様子で笑顔が見られるのが印象的でした。

授業は「国語」と「英会話」の二本立てで行われました。国語の授業では、丸山教諭が工夫を凝らした教材を用い、言葉の奥深さや表現する楽しさを伝えました。参加者は、普段の小学校の授業とは一味違う「中学校の学び」に触れ、真剣に取り組みながらも活発に発言し、互いに考えを共有していました。一方、英会話の授業はキーン教諭のリードで、ゲームや対話を交えながら進められました。英語を「勉強」ではなく「使う」体験を通して、みんな積極的に声を出し、笑顔で英語を楽しんでいる様子が印象的でした。

また、授業の中では本校が導入している学習支援アプリ「Classi Note」のデモ体験も行われました。児童たちはタブレットを手にしながら、自分の考えをまとめたり、友達と意見を共有したりする新しい学びのスタイルを体験し、「楽しい!」「もっとやってみたい!」という声が多く聞かれました。ICTを活用した学びが、子どもたちの学習意欲を大きく引き出していることを実感しました。

二つの授業を終えた後には、本校自慢の「遺愛クッキー」を購買部で購入する時間も設けました。お土産として手にした児童や保護者の皆さまが、とても嬉しそうに笑顔を見せてくださり、校内に温かい空気が流れました。最後に教室で行ったアンケートでは、「楽しかった」「中学校に行くのが楽しみになった」という前向きな感想を多数いただき、この会の意義を改めて感じました。

今回の体験会は、生徒ボランティアの協力なしには成し得ませんでした。受付や教室案内、授業内でのサポートに加え、参加者たちに寄り添い、温かい言葉をかけ続けてくれた在校生たちの姿は、本校の教育が育んできた“思いやり”の具体的な表れであったと感じます。参加者の安心感や満足感は、まさに彼女たちの活躍に支えられたものでした。

今回ご参加くださった方々、お手伝いしてくれた生徒一人一人に改めて感謝申し、この体験が未来の学びへの一歩となることを願っております。



丸山梨沙子先生の国語の授業



Peter Keen先生の英会話の授業

秋期教育実習の先生方

夏には6人の教育実習の先生がいっぱいました。そして今、3人の教生先生が「先生の卵」として、遺愛で学んでいます。3週間日程の2週を終え、今週が最終週となります。研究授業等がありますが、充実したよい一週間になりますように…

藤女子大学 文学部 文化総合学科 大澤和佳

教育実習が始まってからの2週間、HRのK3Aクラスをはじめ、生徒のみなさんの温かさや先生方のご指導に支えられ、日々多くの学びと貴重な経験を積むことができています。実習は大変なこともあります。みなさんが笑顔で話しかけてくれたり、一生懸命授業に取り組む姿を見ると励まされ、楽しく充実した時間を過ごしています。また、先生方からの丁寧なご指導を通して、教育の楽しさや難しさを実感することができ、心から感謝しています。残り1週間となりましたが、さらに多くの学びを得られるよう、全力で頑張ります！

立教大学 理学部 生命理学科 丸山紗世

「実習が始まってから、K2Gの皆さんが温かく迎えてくれて、毎日とても楽しい時間を過ごしています。授業中に良い反応をしてくれたり、授業等で関わりが無くても声をかけてくれたり、生物の質問をしてくれたりすることが本当に嬉しいです。皆さんが明るく、関わりやすい雰囲気を作ってくれているおかげで、授業準備など大変だなと思うときも元気に頑張れています。また、先生方にも授業の進め方や準備の仕方を丁寧にご指導いただき、支えていただいていること、心より感謝申し上げます。実習は9月6日までと短い期間ですが、悔いのないように、皆さんともっとたくさんお話をし、より充実した時間にしたいです！」

東京家政大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 鈴木葉奈

教育実習が始まってから、生徒のみなさんや先生方にあたたかく支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。毎日の授業や学校生活を通して、やっぱり母校が大好きだと改めて実感しています。授業を担当しているK3一般のみなさんや英語科のみなさんと過ごす時間は、本当に楽しく学びが多いです。一緒に授業を作り上げていく中で、生徒のみなさんの前向きな姿勢にたくさん励まされています。今回の経験を将来につなげ、いつか先生として生徒を支えられる存在になりたいと強く思いました。残りの実習も一日一日を大切に、精一杯取り組んでいきたいです。



教育実習の先生方